

事務事業外部評価シート

事務事業名	菜蟲館維持管理事業	担当課・係	農政課 農政係
-------	-----------	-------	---------

1. 事務事業の概要

事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)	事業目的(働きかける対象は何か？ ・対象をどのような状態にしたいか？)	政策体系(まちづくりの目的・方針)	
菜蟲館の維持管理(施設の管理、修繕、利用許可、使用料の徴収)	対象 菜蟲館 むらづくり団体 市民、観光客	基本目標	魅力と活力ある産業づくり
		政策	産業振興で活力あるまちづくり
		施策	都市型農業の推進と中山間地域の活性化
		基本事業	中山間地域の活性化
意図 施設を安全で快適に利用できるようにする。 むらづくり団体が活動を継続できるようにする。	事業期間		
	平成14年度～		
	根拠法令・条例等		
	佐野市菜蟲館条例		

2. 事務事業の外部評価

外部評価委員の意見
<p>・施設の設置目的が地域の農林業の振興や生産者と消費者の交流を基に中山間地域の活性化をすることなので、政策体系には結びついていると考えられる。</p> <p>・むらづくり団体による利用を目的とした施設であることから、今後の運営にあたっては、協力した運営をする必要があると思われる。</p> <p>・現在、むらづくり団体内の事情により、営業を停止している状況であるとのことだが、早期に運営が再開できるよう、今後の方向性を考える必要があると思われる。</p> <p>・施設の運営は停止しているにも関わらず、維持管理費等がかかっている状況にあるのであれば、無駄なお金や施設をそのままにしておくことはできないため、期限を設けて施設の廃止を検討する必要があると思われる。</p> <p>・運営再開にはむらづくり団体との調整が必要不可欠であるため、今後の運営に関して検討する必要があると考えられる。</p> <p>・旧葛生町との取り決めで、高齢者センターと利用料金の仕組みが違うため検討する必要があると思われる。</p>

3. 外部評価委員会としての評価結果

今後の方向性	方向性の内容
<p>廃止 事業のやり方改善(成果向上)</p>	<p>・当面は事務事業の充実を図り成果向上を目指して努力ほしいが、あまりにも休館期間が長いようであれば、再開までの期間を設定し、それが達成できなければ廃止・休止を考えるべきである。</p>

4. 評価結果を踏まえての市の検討結果

今後の方向性	方向性の内容
<p>事業のやり方改善(成果向上)</p>	<p>(外部評価のとおり) ・期限を決めたうえで、担当課において協議を進めるとともに、再開できない場合は新たに団体を募集する。</p>